

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 広田 久男 〕 全協研修報告～地方議会改革の論点と課題

【留意事項】

・研修内容の報告は不要。

・研修レポートに記載する内容は主に以下の3点。

① 研修テーマに即した所感

(1)東員町議会は、下記(a)～(e)項を自信持ってできていると言えるようにしなくてはならないと感じました。

(a)少子高齢化、インフラ老朽化、財政枯渇そのような目前に迫る危機を、責任をもって議論する議会になっているのか。

(b)果たして住民は議会を信用・信頼しているのか。

(c)議会は住民の声(意見)を聴けているのだろうか、汲み取っているのか。

(d)30～40代の議員がいなくて、その年代の課題を知って議論され政策に反映されているのだろうか。

(e)議会報告会、こういう風に決まりましたよ、の結果の話をしてても何もならない。大事なのは、決まる前に課題(議案等)を住民と話し合うことをしなくてはならない。

(2)通年議会の導入については、まず先に、現行の本町議会運営にはどんな問題があるのか、どうしたら解決できるのか、をとことんまで議論した上で判断するべきだと思いました。

② 今後、研修で得た知識等について、町議会活動にどのように反映するか

(1)今回の議会改革に関する研修で、本町議会の最重要課題は「開かれた議会」にすることであると判断しました。

すなわち、議会がどのような活動をしているのか、住民の意見を聴く工夫をしているのか、そして最終的には、議会は住民の暮らしをよくするために確実に成果を出している。と評価されるために、議会として何をすべきか、議員として何ができるか、その取り組みを整理検証したいと思います。

③ その他（特になければ記載不要）

以上